



教祖百四十年祭

教区・支部
情報ネット→



滋賀

4月号

天理教滋賀教務支庁

〒520-0807

大津市松本2丁目12番20号

TEL077-532-8054 (FAX 8047)

PCメールアドレス

sigakyouku@leto.eonet.ne.jp

親心あふれる親里

婦人会教区主任

中西 はつよ



まだ肌寒さの残る頃、教祖殿へ向かいますと、可愛らしいピンクの花を付けた紅梅が、何ともかぐわしい香りを出迎えてくれました。それも束の間、おちば一带は今頃、多種多様な桜が次から次へと咲き乱れ、まさに春爛漫の風景が広がっているのを想像するだけでも、なんだか心がウキウキと春めいてまいります。

聞くところによりますと、東筋を彩る早咲きの熱海桜は、教祖に喜んでいただきたい、帰参者に楽しんででもらいたいとの思いから、

前真柱様が自らの手で植えられたものだそうです。近頃では、S N Sなどの影響でしょうか、一般の方々も多く親里の四季折々の風景を求めて、おちばを訪れる姿をよく目にいたします。

ふと、教祖の仰った「この家へやって来る者に、喜ばさずには一人もかえされん。親のためには、世界中の人間は皆子供である。」というお言葉が過るとともに、あらためて、おちばは親心溢れる場所だと感じる次第です。

私たちお道の者にとつて、親里の風景は見慣れたものですが、そこに立ち並ぶおやさとかたや学校、図書館、参考館などの施設はもとより、周辺に植栽された木々や花々のすべては、たすけ一条に通じるものとして、人々の心が陽気ぐらしへと向かうようにと、二代真柱様が万端の準備を整えて造られた街並みだと聞かせていただきます。

ですから、お道の教えを知らないであろう人々が、心楽しく朗ら

かに天理の街並みを散策されている姿を見ると、どんな中でもそのような心持ちで歩めることこそが、親神様が私たちに望みくださる「陽気遊山」の姿なのだと思います。

今月18日は、教祖の二百二十五回目のお誕生日でございます。そして翌19日は、丸三年に渡るコロナ禍を経て、本部中庭において、人数制限を設けずに第105回婦人会総会が開催されます。一人でも多くの会員の方々とともに、おちばに帰らせていただきたいと思っております。

また、今年「滋賀教区婦人会 成人のつどい」を各支部ごとに開催いたします。教祖百四十年祭に向かつて、老いも若きも、地域の仲間とともに、おたすけのよろこびを味わえますよう、ひながたを頼りに、育つ努力と育てる丹精に励み、ご存命の教祖にご安心いただけるよう、一手一つに喜び勇んで婦人会活動を進めてまいります。

天理教婦人会第105回総会

4月19日(水) 午前10時30分

会場：本部中庭・南・東礼拝場前・西境内地

※人数制限ありません

本部よりの連絡

▽教祖百四十年祭特設ホームページ開設のお知らせ

3月24日、教祖百四十年祭特設ホームページが開設されました。今後「ようぼく一斉活動日」やおやさと諸行事などの案内が発信されます。



年祭特別HP

▽教会の建物に関するおはこびの基準について

本年6月のおはこびより、教会の建物に関するおはこびの基準については以下ようになります。

- ◎御目標様の御遷座を要する場合はおはこびの対象とする。(従来通り)
- ◎登記されるべき建物で、床面積や構造に変更が生じる場合は、おはこびの対象とする。

◎次の工事はおはこびの対象となりません。ただし届が必要です。
・門や塀、または基礎がない建物。

- ・壁床の板張替えや内部改造など、建物の構造変更が生じない場合。
- ・瓦から瓦への屋根葺き替えなど、建物の構造変更が生じない場合。
- ※畳をフローリングにする。エアコンやソーラーパネルの設置。便所を和式から洋式に変更。便器取り換え。木製窓をサッシに取り換えなど。機器・建具の設置、変更、取り換えは届け出不要です。

▽「ようぼく講習会」募集要項発表

「ようぼく講習会」は、ようぼくがそれぞれの立場で、陽気ぐらし世界実現に向かって、その使命を果たすことができるように、親里ちばにおいてをやの思召を学び、自分の役割を再確認し、今後の日常生活に活かす場です。



講習会HP

- ・対象 ようぼくで、講義やグループタイム等が受講可能な方
- ・定員 50名
- ・会場 おやさとやかた東左4棟・5棟
- ・開催日 1日コースで二つのテーマを月ごとに交互に開催
- テーマ「教祖」 6月4日 8月20日 10月8日 12月17日
- テーマ「親神様の御守護と教えの実践」
- 7月9日 9月17日 11月19日
- ・受講時間 午前9時～午後4時15分頃

・受講御供 2000円

・申込方法 所定の申込用紙にて教養室庶務課に提出。もしくは、ホームページから直接お申込みください。

※お問合せは、天理教教会本部 教養室庶務課(0743-63-2109)まで

▽教区よりの連絡

▽「産前子育て教室」制度化に向けて国へ署名提出のお知らせ

昨年、「産前子育て教室」の制度化に向けて、教区管内の皆様からの千七百筆余りの署名をご協力をいただきましたが、全国で4万157筆の署名があつたり、先日、こども政策担当大臣小倉將信氏のもとに提出したとの報告とともに、改めて発起人(一般社団法人 青少年養育支援センター陽気会)より礼状が届きました。詳細は当該ホームページをご覧ください。



子育て教室HP

▽近鉄・阪神団参券取扱金額改定について

4月1日より、近鉄及び阪神電鉄の運賃が改定されました。これに伴い、団参券も改定されます。ただし、3月中に発券された4月分は改定前の金額となりますので、取り扱いにご注意ください。

○京都からの団参券 従来額580円 ↓ 改定金額690円

▽布教部

▽全教一斉ひのきしんデーについて

・「教区・支部情報ねっと」への案内掲載について

「教区・支部情報ねっと」へは、教区ページ、支部ページともに、本情報のみ本部より掲載されております。会場までの交通案内や駐車場情報、持参物品のお願いや雨天時の対応など、会場独自の案内がありましたら、各支部で追記して案内してください。



情報ねっと

- 内容に変更があった場合は、本部布教二課まで、メールで訂正の連絡をお願いいたします。「教区・支部情報ねっと」の内容も変更されます。内容によっては、支部からの追記でフォローをお願いします。
- 教会本部布教部布教二課 Email ffu2@tenrikyo.or.jp
- ・「表統領メッセージ」について

・山崎部長

「表統領メッセージ」を会場数配布いたします。当日、ひのきしんの前に代読をお願いします。

・写真の提出について

ひのきしんの実施の様子を教区報に掲載いたしますので、記録写真を撮影し、当日中に教区へ提出してください。(各支部5枚程度)

・参加カードについて

受付時に提出された参加カードは、支部で回収して名簿管理担当者にお渡しください。ようばく名簿に参加を記録いたします。

・報告書について

① 4月29日実施「支部」報告書

4月29日に実施した全会場分を集計し、支部単位で記入してください。そして布教部ホームページ内の入力フォームから事務局へ報告をお願いします。(締切5月15日)

② 「会場」用 記録用紙

会場ごとに記入し、支部の集計用にお使いください。その後、教区報の資料としますので教区へ提出をお願いします。(締切5月15日)

③ 4月29日以外に実施の「支部」報告書

4月29日以外に実施した全会場分を集計し、支部単位で記入し、布教部ホームページ内の入力フォームから事務局へ報告をお願いします。(締切5月15日)

▽滋賀教区ひのきしんスクール開催のご報告

3月30日、教区独自のプログラムとして畳の表替え講座を開催いたしました。会場の琵琶分教会では16名が参加しました。6ページに写真ニュースを掲載しております。詳細は次号に報告させていただきます。

▽布教部例会日のお知らせ

・日 時 4月29日(祝) 午後2時 於・教務支庁

社友

▽新刊案内(再掲)

「真実の道―ひながた篇―」道友社編

5月1日発売 定価1320円(税込)

「フォトブック5おやさとの空色」道友社編

・藤寄代表社友

読書会定期配本

4月18日発売予定 定価495円(税込)

▽「おやさまの情景」セット割キャンペーン(再掲)

4月26日までに「おやさまの情景」と「続おやさまの情景」をセットで購入すると1800円(180円お得)になります

▽3月献血実績(2/21、3/20)

☆びわこ草津献血ルーム

大津 1名 江西 3名

江南北 3名 江東 2名

湖北 1名

☆献血センター

江西 1名

★合計 10名

今月も、コロナ禍で出にくい中、大勢の方のご協力をいただき、誠にありがとうございました。引き続きのご協力を、よろしくお願いいたします。

・竹下委員長

婦人会

▽女子青年例会のお知らせ

・日 時 4月7日(金) 午前10時〜午後3時 於・教務支庁

・中西教区主任

▽婦人会庁舎清掃ひのきしん

・4月(3月27日) 江 東支部 ありがとうございます。

・5月(期日未定) 江東南支部 よろしく願っています。

青年会

▽本部「青年会総会」日程のご案内

本年の青年会総会は11月25日に開催となりました。例年の10月27日ではありませんのでご注意ください。詳細は後日ご案内いたします。

▽「外来魚駆除ひのきしん」開催日の変更のご案内

・日 時 5月13日(土) 午前8時半受付 9時開始

※既報の14日から予定変更いたします。

・場 所 矢橋帰帆島

・原委員長

少年会

▽「わかぎの集い」開催のご報告

去る3月30日、中野大教会を会場にわかぎの集いを開催いたしました。当日は晴天のご守護を頂き、門出式では3名の中学三年生の門出をお祝いし、続いて、オリエンテーションではゲームなどで親睦を深めました。午後からはスポGOMIを行い、3班に別れて1時間ゴミ拾いをし、缶やペットボトルにポイントを付け、拾って来た数のポイントで勝敗を決めました。

少年会員は初めこそ初対面で緊張した面持ちでしたが、終わる頃には仲良くなり、子どもおちばがえりの少年ひのきしん隊で再会することを約束して解散しました。ご協力いただきました各会の先生方、また中野大教会の皆様方に厚く御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。尚、参加人数は左記の通りです。

- ・ 少年会員 中学生9名 小学生以下2名
 - ・ 育成会員12名 計23名
- 次ページに写真ニュースを掲載しております。ご覧ください。

▽少年会例会日のお知らせ

・ 日 時 4月29日(祝) 午後2時 於・教務支庁

道の教職員の集い

▽幹事会のお知らせ

・ 日 時 5月7日(日) 13時〜15時 於・教務支庁

・ 内 容 袋詰め 総会の準備

・ 古池代表

滋賀里親会

▽発会十周年記念総会開催のお知らせ

立教176年(平成25年)6月2日にご本部福祉課長臨席のもと発会した「天理教滋賀里親会」は、皆さまのご支援を賜り、お陰様で十周年を迎えました。つきましては発会十周年の記念総会を開催いたします。

・ 日 時 6月13日(火) 於・教務支庁

・ 小椋会長

・ 大北団長

空仁分教会長 岡本仁司さん

京都新聞に掲載されました

3月2日の朝刊に音楽療法士として紹介されたのは、西湖支部の空仁分教会(西海部属)の岡本仁司会長です。教祖百四十年祭に向かう年祭活動の始まったこの旬に、こうした教会長の活動が報道されるのは、教友として大きな勇みをいただく朗報です。ますますのご活躍を!

時代支えた世代に恩返し

岡本 仁司 さん (68)

ひと往来

「昭和のうた ピアノ弾き語りコンサート」を続ける



懐かしい歌の演奏と軽快なトークで昭和のうた ピアノ弾き語りコンサートを続ける岡本さん(高島市安曇川町上小川、藤樹の里文化芸術会館)

懐かしい昭和の歌のピアノ、手を焦らさずたり、季節に生演奏と軽快なトーク。まじ、応じながら毎回、決めめな話ジョークも織り交せている。「1カ月かけて考える。コンサートのテーマは歌、まずと自身が楽しんでいる。種なクリスマスを通して奏でた。サ・ドリフワーズの「いい湯だな」では笑いを交えながらタレントの志村けんさんをしたんだ。

中学期代、米ジャズ界の大御所スイングジャズの王様と呼ばれたケラリーネット奏者と呼ばれたケラリーネット奏者のヘニー・グッドマンに憧れ、高校時代を通してクラリネットジャズのとりこになった。進学した東京の音楽の専門学校でクラシックに目覚めた。卒業後は帰郷して音楽教室を開いて子どもたちにピアノを指導する傍ら、県内の高校などで非常勤講師も務めた。39歳の時に転機を迎えた。友人が交通事故で亡くなり、ショックを受けた。「ただ何とな生きてきた。福祉の仕事をした」と思い立ち、社会福祉法人ゆたか会の障害者来場者の平均年齢は70歳を超すという。「昭和を支えた方々への恩返し」のつもりです。喜んでもらえる限り続けたいと笑顔で語った。同市マキ町沢。(山合ノ輔)

複製 転載禁止 この記事は京都新聞社より二次利用の許可を得て掲載しております

少年会 わかぎの集い

フォトニュース



門出式では3名が卒業の祝福を受けました



学生担当委員会(左) 青年会(中) 女子青年(右) 各会からも門出へのメッセージが送られました



オリエンテーションはゲームでしょ！ ワクワクどきどきが止まりません・・・



ごみ拾いをスポーツ感覚で楽しむ「スポGOMI」



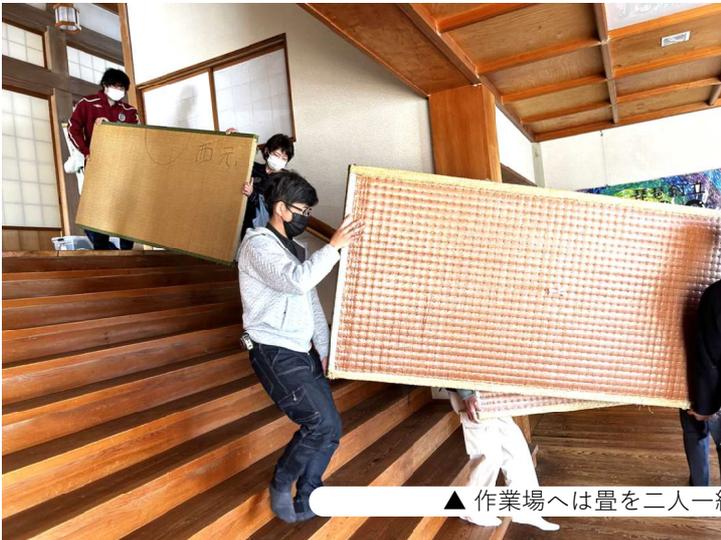
ごみを見つけて楽しいなんて新しい感覚です

ひのきしんスクール

フォトニュース



▲ 開会のあいさつを述べる山崎布教部長



▲ 作業場へは畳を二人一組で運びます



▲ 神殿階下の作業場では、まるでプロの畳職人さんのような作業ぶりの皆さんでした



教会探訪ルポ あの街この教会 No.102

近愛分教会 (甲賀・江東支部)
会 長 吉岡 孝之
住 所 東近江市垣見町一〇〇番地

JR能登川駅より北東へ約5百メートルの所に近愛分教会がある。近愛の道は、明治22年10月吉岡栄蔵の入信に始まるのであるが、実はこれより半年前の4月に、実弟辰蔵が高田彦兵衛より話を聞いて入信していたという。

栄蔵は、辰蔵の勧めもあって、甲賀初代山田太右衛門や河原町初代深谷源次郎に面会を求め、その足でおちばに初参拝。吉岡家のいんねんを深く自覚して入信を決意した。明治23年、栄蔵は斯道会第248号北坂講社を結講する。

裕福な庄屋の出であったが、入信後栄蔵は村の全ての役を辞して、辰蔵とともにをいがけ、おたすけに専念した。その結果、教線は北坂(愛知郡角井村大字百濟寺の通称)から山間部へと伸び、果ては鈴鹿山脈を越えて岐阜県へと根を下ろす。そして、そこから愛知県や三重県へとまさに燎原の火の如く拡がった。明治27年4月には、北坂講社の教勢は滋賀、三重、岐阜、愛知合わせて80箇所有余の



結講、信者戸数二千戸に及んだ。こうして教会設立の機運盛り上がり、明治27年5月28日、河

原町初代深谷源次郎の助言により、近江国愛知郡に所在することから、「近愛」の名称で栄蔵を初代会長として支教会の設置を見た。ただしこの時、部内講社の帰属を巡り教会事情が起り、当時の殆どの部内講社を失って、創痍の船出をしたのであった。その中、栄蔵が私財を投じ、翌28年11月3日神殿落成奉告祭が盛大に勤められたが、普請の借財により疲弊した教会を見るに見かねて、兄会長を助けるべく、養子に出ていた塩谷辰蔵一家が教会へ戻った。

しかし、明治31年2月16日栄蔵の妻とが出直し、追い打ちをかけるように、翌年4月20日には、栄蔵までもが38歳の若さで出直した。こうして、教会はまさにどん底の状態が続く。しかし、失意の中、さとの身上願に対して戴いたおさしづを頼りに奮起した辰蔵他先人達は、茨城、宮崎、長野といった遠隔地へ布教に赴いた(遠国布教)。

明治32年6月19日、栄蔵の嗣子道太郎が10歳であったため、塩谷辰蔵が二代會長に就任する。辰蔵は、温かい愛情と深い思慮とをもって両親のいない道太郎を指導したという。

大正10年11月6日、辰蔵の出直しに伴い、翌11年3月23日道太郎が三代會長と



なる。時あたかも教祖四十年祭へ向けて、教勢倍加運動の提唱があり、全教が興奮のるつぼと化したこの時期に、苦難の時代に培われた先達の真実の伏せ込みが結実し、4ヶ所だった部内が16ヶ所へと飛躍した。

昭和2年、帰参団体列車で賑わった教祖年祭の余波から、本教に対し好意的な招致運動が高まり、それとあいまって、これまで能登川駅から12キロの道のりを徒歩で参拝していた部内信者たちの便に鑑み、教会の移転が提案された。2月27日本部より認可を得、北坂から能登川への移転作業は、丸4年。解体、運搬、組み立てから植木の移植に至るまで、ほとんどがひのきしんで行われた。まだトラックのなかった時代、三里の道を荷車で引いていくため、往復だけで丸一日かかったという。

こうして、昭和5年4月21日、神殿移転建築奉告祭が滞りなく執り行われた。戦中、戦後の動乱期を乗り越え、教祖七十年祭の旬の理を受けて、にわかには教熱が高まり、後継者らが単独布教に出た結果、教勢の更なる伸展を見る。昭和35年頃、道太郎は、自身の身上から神意を悟り、教會長を後継者道孝に譲る決心をした。翌36年3月21日、道孝が四代

會長に就任する。道太郎は、昭和44年1月15日に80歳で出直すまでの41ヶ年の在職期間中、底なしのたんのうと親孝行を金科玉条として通り、就任当初4ヶ所だった部内教会は40ヶ所を数えるに至った。

平成6年5月28日、近愛分教会は創立百周年を迎えたが、その2年後の平成8年、後継者の孝之が38歳になると、道孝自身は65歳で会長職を辞して孝之に譲った。孝之は8月26日五代會長を拝命。これは、初代栄蔵が38歳で出直したことに関連するものらしい。

孝之會長曰く「初代、先人先輩方の筆舌に尽くせぬ艱難苦勞の上に現在の近愛がある。しかし決してそれに甘んじてはいけぬ。私たちが、先人ほどのことはできないまでも、私たちがなりにしっかりとひながたをたどらせていただくことが大切。これまで近愛の道は布教で伸びてきたのだから、これからも布教を常に教会活動の中心に据えて、この三年千日を通していただきたい。来年は近愛創立百三十周年記念祭を迎える。教祖百

祭への目標として、おちばへの伏せ込みとともにおちばに、よく信者一同が、おちばへの初参拝者を一人でも多く御守護いただく」と申し合せている。



孝之會長夫妻



3月 教区日誌

- ／1 庁舎清掃ひのきしん 江南北支部
- ／2 主事会、役員会、婦人会例会
「ようぼく一斉活動日」教区巡回 13:00
教会本部布教二課長 富松基成先生
滋賀里親会役員会
- ／3 教会探訪ルポ取材 近愛分教会
- ／4 近畿ブロック代表世話人会議 19:00
(ビデオ会議・道の教職員の集い)
- ／9 女子青年例会 10:00
- ／13 滋賀里親会役員会 10:00
- ／25 教区長会議(教庁) 13:00
- ／27 庁舎清掃ひのきしん 10:00 江東支部
- ／30 ひのきしんスクール 9:00
併せて布教部例会 (琵琶分教会)
わかぎの集い 10:00 (中野大教会)
- ／31 広報委員会 啓発委員会 10:00

4月 行事予定

- ／1 少年会例会 10:00
- ／2 主事会、役員会、婦人会例会
「ようぼく一斉活動日」
教区実行委員会 及び 支部担当者会議
災害救援ひのきしん隊会議
- ／4 滋賀里親会役員会 10:00
- ／6 こどもおぢばがえり委員会 10:00
- ／7 女子青年例会 10:00
- ／25 教区長会議(38母屋) 16:00
- ／29 布教部例会 少年会例会 14:00
広報委員会 16:00
- 未定 庁舎清掃ひのきしん 江東南支部

◇ 閉庁日 14日 18日 23日 25日 26日
◇ 閉庁時間 午後5時 (4月～9月)
(連絡先 ☎ 080-8341-1563 鈴木)

訃報

- ・外村 喜久子氏 [高宮 湖北]
86歳 金湖分教会前会長夫人
3月15日 出直されました
- ・山添 八重子氏 [日野 江東南]
95歳 布引分教会長
3月17日 出直されました
- ・宮垣 瑛子氏 [河原町 大津]
84歳 滋賀分教会前会長夫人
3月25日 出直されました

立教186年(令和5/2023)

みちのだい おはなし会

教祖140年祭に向けて、教祖の親心を感じ、教えを日々にかししながら
自ら育つ心を培うことを目指す「おはなし会」です

<p>5/26 (金) 東講堂</p> <p>おたすけの中にたすかる種が 葛西いくえ (弘森委員長)</p> <p>今日いちにちの命ありがたし 小川由美子 (開原委員長)</p>	<p>6/26 (月) 南右第二棟 陽気ホール</p> <p>どんな中も心明るく通ろう 扇田 翠 (眞壁委員長)</p>
<p>9/26 (火) 南右第二棟 陽気ホール</p> <p>心豊かに美しく生きる道を求めて 一人への寄り添いは自分自身への寄り添い 宇田まゆみ (敷島支部会員)</p>	<p>11/26 (日) 東講堂</p> <p>仕合わせに感謝 旭 和世 (御空委員長)</p> <p>よふきのたね 平井直子 (泉道委員長)</p>

各月 午後1時～2時 *どなたでも入場できます
*託児はありません

陽気ぐらしの心を育て広げていきましょう



天理教婦人会
ホームページ
おはなし会案内

